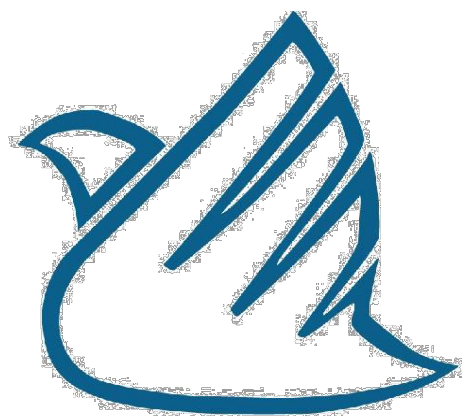


# 図解 交通年鑑

(令和3年版)



TOTTORI POLICE



はとろーくん

鳥 取 県 警 察 本 部



はとこちゃん

## 用語の意味

- 1 「交通事故」とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの(人身事故)並びに物損事故をいう。  
※ 本資料に計上された数のうち、物損事故として表記のないものは、全て人身事故として計上されたものである。
- 2 「死亡」(「死者」)とは、交通事故によって、発生から24時間以内に亡くなった場合(人)をいう。
- 3 「負傷」(「負傷者」)とは、交通事故によって負傷し、治療を要する場合(人)をいう。  
なお、負傷の程度の判断は医師の診断に基づく。
- 4 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等(列車を含む。)の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者をいい、また過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいう。
- 5 「高齢者」とは65歳以上の者、「子ども」とは中学生以下の者をいう。
- 6 「事故類型」とは、事故をまず当事者の種類(人又は車両)によって分類し、次いで当事者の事故時の行動等(動き、位置、衝突物等)によって更に細かく分類したものである。
- 7 「状態」とは、当事者の事故当時の状態(自動車運転中、自動車同乗中、歩行中等)をいう。

\* 構成率等については、単位未満で四捨五入しているため、合計と内計は一致しない場合がある。

# 目 次

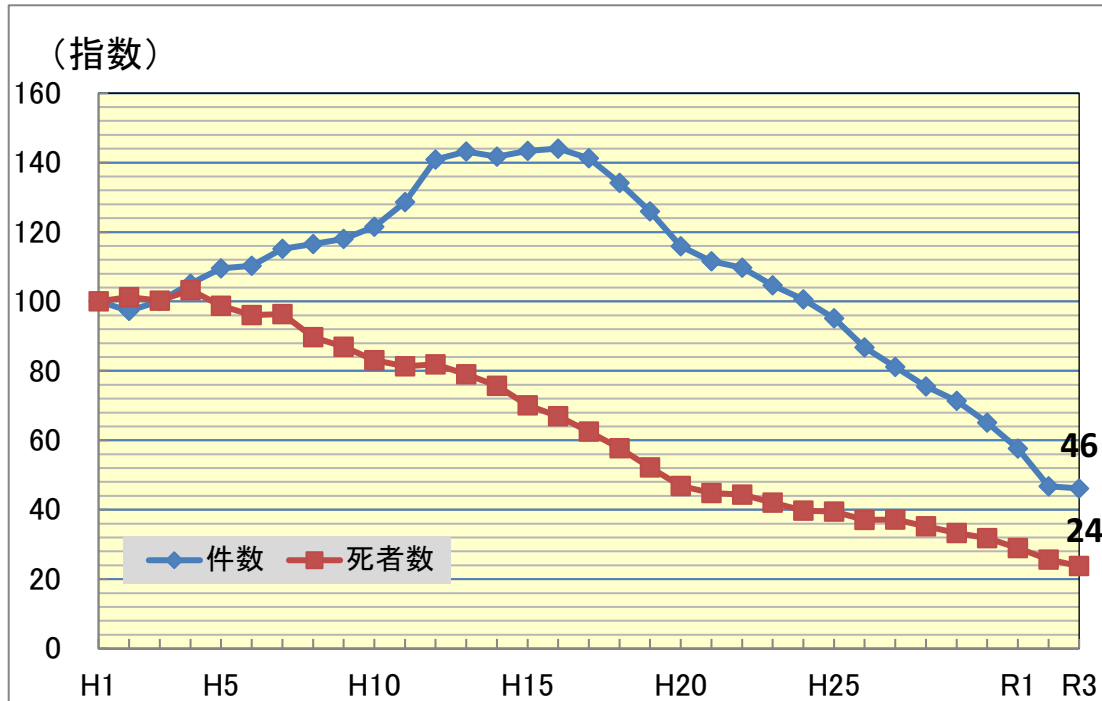
1	全国の交通事故	1
	(1) <u>全国の交通事故の推移</u>	1
	(2) <u>都道府県別交通事故死者数</u>	2
2	鳥取県の交通事故	3
	(1) <u>鳥取県の交通事故の推移</u>	3
	(2) <u>市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率</u>	4
	(3) <u>月別発生状況</u>	5
	(4) <u>曜日別発生状況</u>	5
	(5) <u>時間別・昼夜別発生状況</u>	6
	(6) <u>道路別発生状況</u>	7
	(7) <u>事故類型別発生状況</u>	7
	(8) <u>年齢層別死傷者数</u>	8
	(9) <u>状態別死傷者数</u>	8
3	子どもの交通事故	9
	(1) <u>子どもの交通事故の推移</u>	9
	(2) <u>学齢別負傷者数</u>	9
	(3) <u>状態別負傷者数</u>	10
4	高齢者の交通事故	11
	(1) <u>高齢者の交通事故の推移</u>	11
	(2) <u>状態別死傷者数</u>	11
	(3) <u>男女別死傷者数</u>	12
	(4) <u>高齢者(第1当)事故件数</u>	12
5	歩行者の交通事故	13
	(1) <u>歩行者の交通事故の推移</u>	13
	(2) <u>年齢層別死傷者数</u>	13
	(3) <u>事故類型別発生件数・死傷者数</u>	14
	(4) <u>歩行者の違反別死傷者数</u>	14
6	自転車の交通事故	15
	(1) <u>自転車の交通事故の推移</u>	15
	(2) <u>年齢層別死傷者数</u>	15
	(3) <u>事故類型別発生件数・死傷者数</u>	16
	(4) <u>自転車の違反別死傷者数</u>	16

7	二輪車(自動二輪・原付)の交通事故	17
(1)	二輪車の交通事故の推移	17
(2)	年齢層別死傷者数(二輪車乗車中)	17
(3)	事故類型別発生件数・死傷者数	18
(4)	二輪車の違反別死傷者数	18
8	交通死亡事故発生状況	18
(1)	年齢層別・状態別死者数	19
(2)	第1当事者の年齢層別・状態別件数	19
(3)	第1当事者の違反別件数	20
(4)	路線別・道路形状別件数	20
9	飲酒交通事故、飲酒運転取締り状況	21
(1)	飲酒交通事故発生状況	21
(2)	飲酒運転取締り状況	21

# 1 全国の交通事故

## (1) 全国の交通事故の推移

全国の発生件数及び負傷者数は17年連続で減少し、死者数は2,636人で、5年連続で戦後最少を更新した。



(注) 指数は、平成元年(1年)を100とする。

区分 年別	件数	死者数	負傷者数	区分 年別	件数	死者数	負傷者数
昭和47年	659,283	15,918	889,198	平成9年	780,401	9,642	958,925
48	586,713	14,574	789,948	10	803,882	9,214	990,676
49	490,452	11,432	651,420	11	850,371	9,012	1,050,399
50	472,938	10,792	622,467	12	931,950	9,073	1,155,707
51	471,041	9,734	613,957	13	947,253	8,757	1,181,039
52	460,649	8,945	593,211	14	936,950	8,396	1,168,029
53	464,037	8,783	594,116	15	948,281	7,768	1,181,681
54	471,573	8,466	596,282	16	952,720	7,436	1,183,617
55	476,677	8,760	598,719	17	934,346	6,937	1,157,113
56	485,578	8,719	607,346	18	887,267	6,415	1,098,564
57	502,261	9,073	626,192	19	832,704	5,796	1,034,652
58	526,362	9,520	654,822	20	766,394	5,209	945,703
59	518,642	9,262	644,321	21	737,637	4,979	911,215
60	552,788	9,261	681,346	22	725,924	4,948	896,297
61	579,190	9,317	712,330	23	692,084	4,691	854,613
62	590,723	9,347	722,179	24	665,157	4,438	825,392
63	614,481	10,344	752,845	25	629,033	4,388	781,492
平成元年	661,363	11,086	814,832	26	573,842	4,113	711,374
2	643,097	11,227	790,295	27	536,899	4,117	666,023
3	662,392	11,109	810,245	28	499,201	3,904	618,853
4	695,346	11,452	844,003	29	472,165	3,694	580,850
5	724,678	10,945	878,633	30	430,601	3,532	525,846
6	729,461	10,653	881,723	令和元年	381,237	3,215	461,775
7	761,794	10,684	922,677	2	309,178	2,839	369,476
8	771,085	9,943	942,204	3	305,196	2,636	362,131

(2) 都道府県別交通事故死者数

都道府県	死者数	人口当たり		車両台数当たり		免許人口当たり		道路実延長当たり		走行台キロ当たり		
			順位		順位		順位		順位		順位	
北海道	120	2.297	29	0.292	27	0.362	26	1.323	41	0.495	29	
東北	青森	29	2.343	28	0.259	36	0.353	28	1.438	37	0.456	34
	岩手	35	2.891	17	0.300	24	0.428	16	1.051	45	0.449	39
	宮城	42	1.825	40	0.225	43	0.272	41	1.648	33	0.392	44
	秋田	28	2.918	15	0.314	17	0.429	15	1.172	44	0.461	33
	山形	24	2.247	31	0.231	41	0.321	35	1.422	40	0.348	46
	福島	49	2.673	22	0.272	32	0.384	22	1.243	43	0.444	41
東京	133	0.947	47	0.269	35	0.164	47	5.450	3	0.819	4	
関東	茨城	80	2.790	21	0.283	30	0.392	21	1.436	38	0.525	26
	栃木	56	2.897	16	0.297	26	0.403	19	2.191	21	0.522	27
	群馬	50	2.579	24	0.256	38	0.358	27	1.428	39	0.526	25
	埼玉	118	1.607	42	0.258	37	0.250	44	2.493	14	0.704	10
	千葉	121	1.925	39	0.299	25	0.299	39	2.946	9	0.766	7
	神奈川	142	1.537	45	0.304	22	0.252	43	5.506	2	0.977	1
	新潟	47	2.135	34	0.231	42	0.307	36	1.246	42	0.358	45
	山梨	32	3.951	2	0.377	6	0.546	4	2.830	11	0.778	6
	長野	45	2.197	33	0.215	44	0.306	37	0.935	46	0.434	42
	静岡	89	2.450	27	0.279	31	0.352	29	2.396	16	0.604	17
中部	富山	29	2.802	20	0.305	21	0.393	20	2.065	25	0.470	32
	石川	26	2.296	30	0.271	33	0.334	30	1.973	28	0.403	43
	福井	26	3.390	8	0.364	9	0.484	8	2.364	18	0.575	20
	岐阜	61	3.083	11	0.341	11	0.436	13	1.975	27	0.552	22
	愛知	117	1.551	44	0.206	45	0.228	45	2.312	19	0.479	31
	三重	62	3.502	6	0.371	8	0.497	7	2.433	15	0.620	16
近畿	滋賀	37	2.617	23	0.318	16	0.383	23	2.935	10	0.545	23
	京都	51	1.978	37	0.309	19	0.327	33	3.262	5	0.659	13
	大阪	140	1.584	43	0.311	18	0.274	40	7.069	1	0.899	2
	兵庫	114	2.086	35	0.325	14	0.332	31	3.098	7	0.665	12
	奈良	39	2.945	14	0.401	4	0.447	11	3.054	8	0.792	5
	和歌山	31	3.360	9	0.339	12	0.476	9	2.238	20	0.684	11
中国	鳥取	19	3.433	7	0.374	7	0.507	6	2.128	22	0.494	30
	島根	10	1.490	46	0.166	47	0.221	46	0.547	47	0.228	47
	岡山	57	3.018	12	0.329	13	0.444	12	1.758	30	0.590	19
	広島	70	2.500	26	0.318	15	0.379	24	2.394	17	0.636	15
	山口	34	2.533	25	0.291	28	0.378	25	2.030	26	0.456	35
四国	徳島	32	4.447	1	0.470	1	0.627	1	2.087	23	0.739	9
	香川	37	3.894	3	0.410	3	0.553	2	3.575	4	0.742	8
	愛媛	50	3.746	4	0.413	2	0.553	3	2.711	12	0.826	3
	高知	25	3.615	5	0.378	5	0.533	5	1.748	31	0.637	14
九州	福岡	101	1.967	38	0.270	34	0.305	38	2.663	13	0.603	18
	佐賀	23	2.834	18	0.303	23	0.413	17	2.084	24	0.450	38
	長崎	27	2.057	36	0.247	39	0.323	34	1.494	34	0.447	40
	熊本	39	2.244	32	0.246	40	0.331	32	1.488	35	0.453	37
	大分	36	3.203	10	0.350	10	0.474	10	1.936	29	0.545	24
	宮崎	30	2.805	19	0.286	29	0.405	18	1.484	36	0.513	28
	鹿児島	47	2.959	13	0.306	20	0.432	14	1.714	32	0.569	21
	沖縄	26	1.772	41	0.199	46	0.269	42	3.167	6	0.453	36
合計	2,636	2.090		0.289		0.322		2.148		0.583		

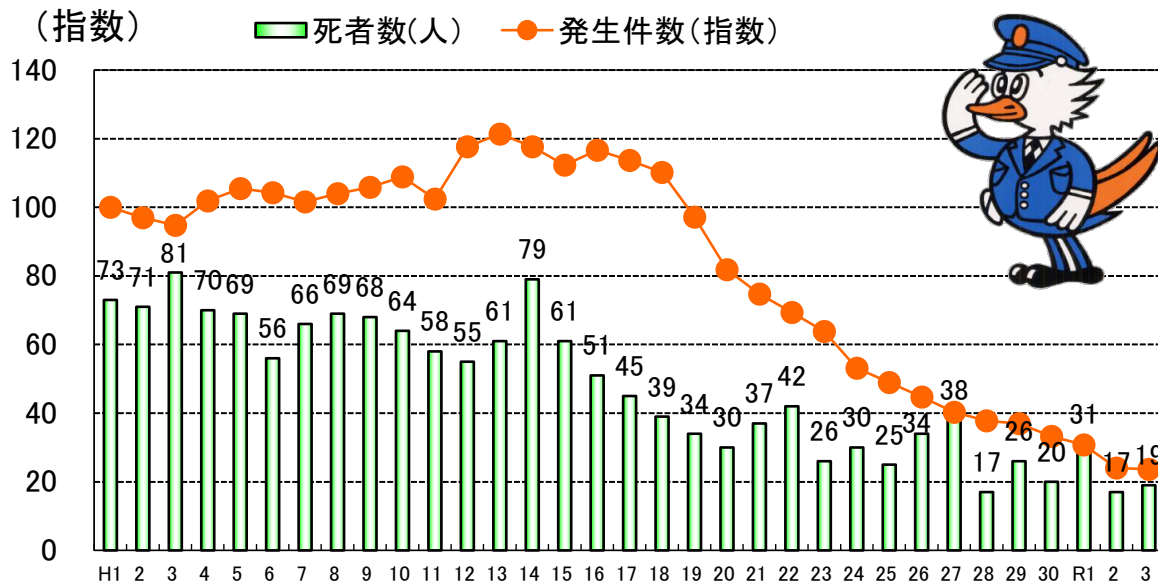
- 注1 「人口当たり」とは、人口10万人当たりの死者数で、算出に用いた人口は総務省統計資料「人口推計」（令和2年10月1日現在）による。
- 2 「車両台数当たり」とは、1万台当たりの死者数で、算出に用いた車両台数は国土交通省統計資料「自動車保有車両数月報」（令和2年12月末現在）による。ただし、原付自転車（原付二種及び原付一種）並びに小特（ミニカー含む。）は、総務省統計資料「市町村税課税状況等の調」（令和2年7月1日現在）による。
- 3 「免許人口当たり」とは、1万人当たりの死者数で、算出の用いた免許人口は令和3年12月末現在の免許保有者数である。
- 4 「道路実延長当たり」とは、1000km当たりの死者数で、算出に用いた道路実延長は国土交通省統計資料「道路統計年報」（令和2年3月31日現在）による。
- 5 「走行台キロ当たり」とは、1億走行台キロ当たりの死者数で、平成27年度「全国道路・街路交通情勢調査」による路線（一般道路計）の24時間走行台キロから算出している。（24時間走行台キロ×累計日数）

## 2 鳥取県の交通事故

### (1) 鳥取県の交通事故の推移

令和3年の死者数19人は、平成以降では平成28年及び令和2年の17人に次いで、2番目に少ない。

発生件数及び負傷者数は、平成17年から17年連続で減少した。



(注) 指数は、平成元年(1年)を100とする。

年別	区分	死者数	年別	区分	死者数	年別	区分	件数	死者数	負傷者数
昭和23年		27	48		109	10		2,846	64	3,217
24		9	49		72	11		2,677	58	3,413
25		18	50		89	12		3,074	55	3,943
26		24	51		90	13		3,172	61	4,152
27		31	52		61	14		3,075	79	4,051
28		21	53		54	15		2,934	61	3,772
29		32	54		52	16		3,048	51	3,992
30		38	55		61	17		2,970	45	3,905
31		42	56		57	18		2,878	39	3,698
32		34	57		71	19		2,539	34	3,236
33		45	58		69	20		2,138	30	2,733
34		60	59		61	21		1,952	37	2,439
35		38	60		60	22		1,812	42	2,273
36		63	61		58	23		1,668	26	2,076
37		49	62		53	24		1,389	30	1,658
38		55	63		50	25		1,280	25	1,619
39		50	平成元年	73	26		1,168	34	1,396	
40		85	2	71	27		1,053	38	1,250	
41		87	3	81	28		987	17	1,243	
42		104	4	70	29		965	26	1,162	
43		106	5	69	30		869	20	1,029	
44		112	6	56	令和元年	805		31	957	
45		117	7	66	2		628	17	749	
46		134	8	69	3		618	19	694	
47		120	9	68						

(2) 市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率

	発生件数		死者数		負傷者数		人口*	第1当事者居住地別	
		1万人当り		1万人当り		1万人当り		発生件数	1万人当り
岩美町	3	2.8		0.0	5	4.7	10,655	5	4.7
鳥取市	204	10.9	6	0.3	232	12.4	187,238	181	9.7
八頭町	9	5.8		0.0	11	7.0	15,618	15	9.6
若桜町		0.0		0.0		0.0	2,767	3	10.8
智頭町	3	4.8		0.0	3	4.8	6,251	4	6.4
湯梨浜町	22	13.8	1	0.6	24	15.1	15,945	21	13.2
三朝町	6	10.1		0.0	7	11.8	5,915	8	13.5
倉吉市	57	12.4	1	0.2	67	14.6	45,828	45	9.8
北栄町	24	16.9	1	0.7	27	19.0	14,178	20	14.1
琴浦町	10	6.2	1	0.6	12	7.5	16,066	18	11.2
大山町	13	8.6	2	1.3	14	9.3	15,110	17	11.3
日吉津村	6	17.0		0.0	10	28.3	3,532	5	14.2
米子市	215	14.7	3	0.2	236	16.1	146,753	166	11.3
南部町	3	2.9		0.0	3	2.9	10,208	5	4.9
境港市	35	10.8	3	0.9	35	10.8	32,401	31	9.6
伯耆町	3	2.8	1	0.9	3	2.8	10,590	5	4.7
江府町		0.0		0.0		0.0	2,595	1	3.9
日野町	2	7.1		0.0	2	7.1	2,822	3	10.6
日南町	3	7.3		0.0	3	7.3	4,090	3	7.3
合計	618	11.3	19	0.3	694	12.7	548,562	556	10.1

\* 人口は、鳥取県地域振興部統計課資料「鳥取県の推計人口（令和2年10月-令和3年9月）」による。

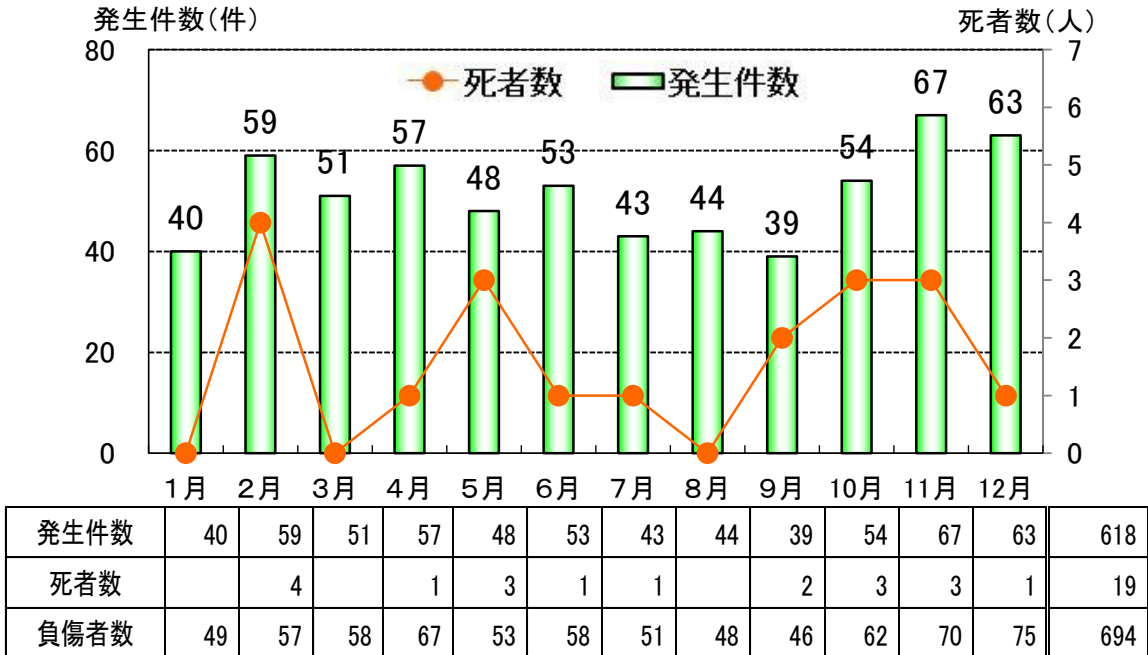
県外者	57
不明	5
総計	618



(3) 月別発生状況

発生件数は11月が67件と最も多く、9月が39件と最も少ない。

死者数は2月が4人と最も多く、1月、3月及び8月中の死者はなかった。



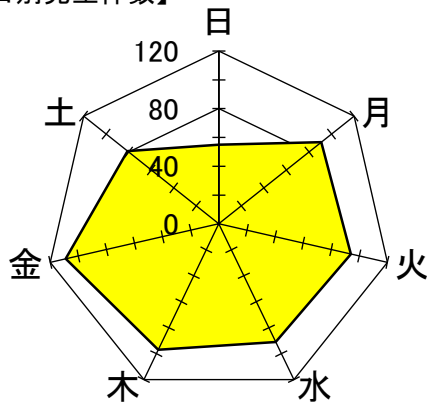
(4) 曜日別発生状況

発生件数は金曜日が109件と最も多く、日曜日が55件と最も少ない。

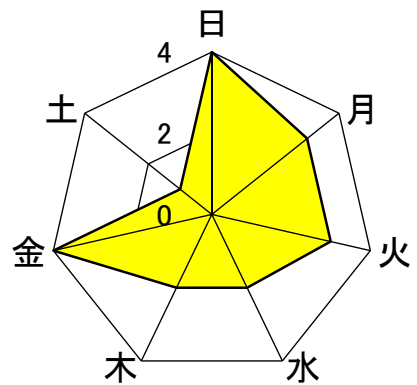
死者数は日曜日、金曜日が4人と最も多い。

負傷者数は金曜日が118人と最も多く、日曜日が62人と最も少ない。

【曜日別発生件数】



【曜日別死者数】

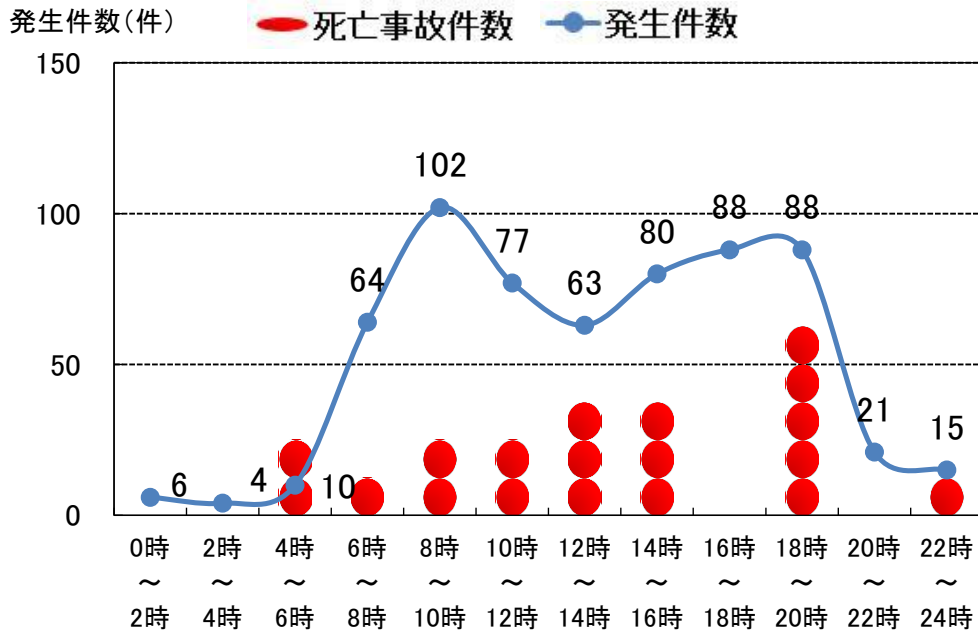


	日	月	火	水	木	金	土	合計
発生件数	55	91	94	91	97	109	81	618
死者数	4	3	3	2	2	4	1	19
負傷者数	62	100	104	100	111	118	99	694

(5) 時間別・昼夜別発生状況

ア 時間別

8時から10時の発生が最も多く、死亡事故は18時から20時の発生が最も多い。

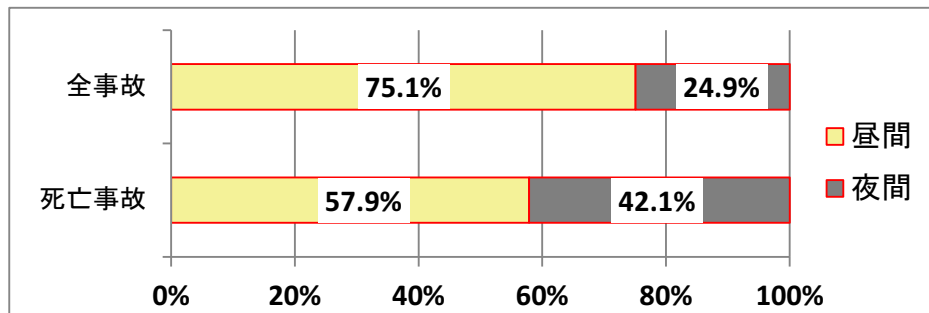


	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
発生件数	6	4	10	64	102	77	63	80	88	88	21	15	618
死亡事故件数			2	1	2	2	3	3		5		1	19

イ 昼夜別

全事故の75.1%が昼間に発生した。

死亡事故は、夜間に8件(42.1%)と、前年(3件・17.6%)から大幅に増加した。

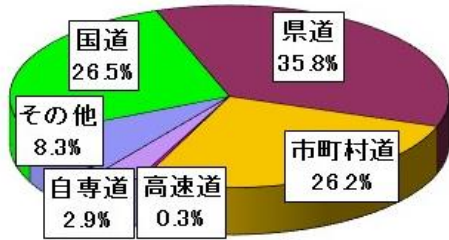


	昼間	夜間	合計
全事故件数	464	154	618
死亡事故件数	11	8	19

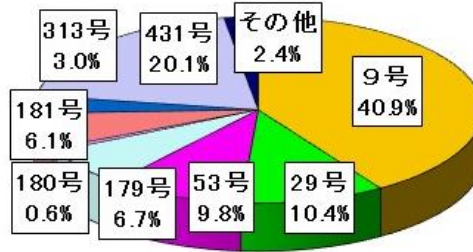
(6) 道路別発生状況

県道での発生が最も多く、国道では、国道9号での発生が多い。

【道路別発生割合】



【国道路線別発生割合】



	国										計
	9号	29号	53号	179号	180号	181号	313号	431号	その他		
発生件数	67	17	16	11	1	10	5	33	4	164	

	高速道	自専道	県道			市町村道	その他	合計
			主要	一般	計			
発生件数	2	18	92	129	221	162	51	618

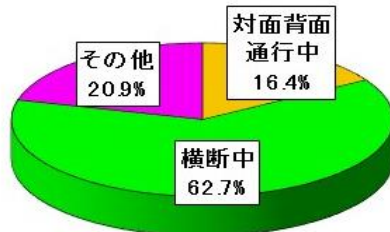
(7) 事故類型別発生状況

人対車両では横断中が多く、車両相互では追突が多い。

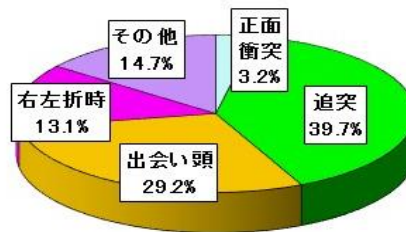
【類型別発生割合】



【人対車両の事故】



【車両相互の事故】

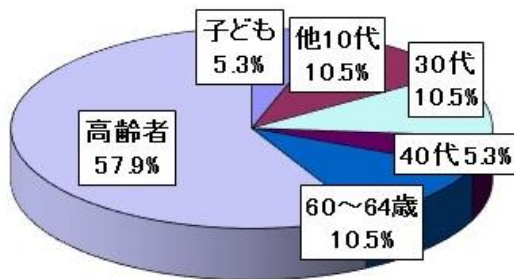


	人対車両			車両相互					車両単独		列車	合計
	対面背面通行中	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他	工作物衝突	その他		
発生件数	18	69	23	16	197	145	65	73	7	5		618
総数	110			496					12			618

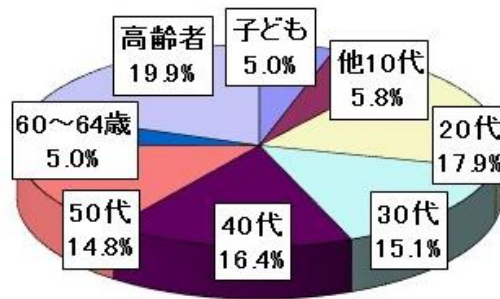
(8) 年齢層別死傷者数

死者数は、高齢者が11人(57.9%)等、60歳以上が13人(68.4%)を占める。

【年齢層別死者の割合】



【年齢層別負傷者の割合】



	子ども	他10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	高齢者	合計
死者数	1	2		2	1		2	11	19
負傷者数	35	40	124	105	114	103	35	138	694

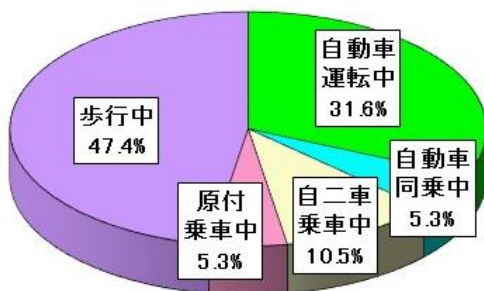
※ 子どもは、中学生以下

(9) 状態別死傷者数

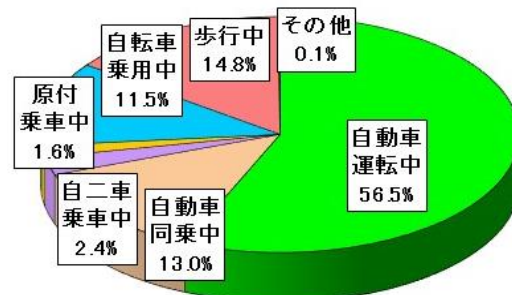
死者は、歩行中が9人(47.4%)と、前年(2人・11.8%)から大幅に増加した。

負傷者は、自動車運転中の割合が高い。

【状態別死者の割合】



【状態別負傷者の割合】

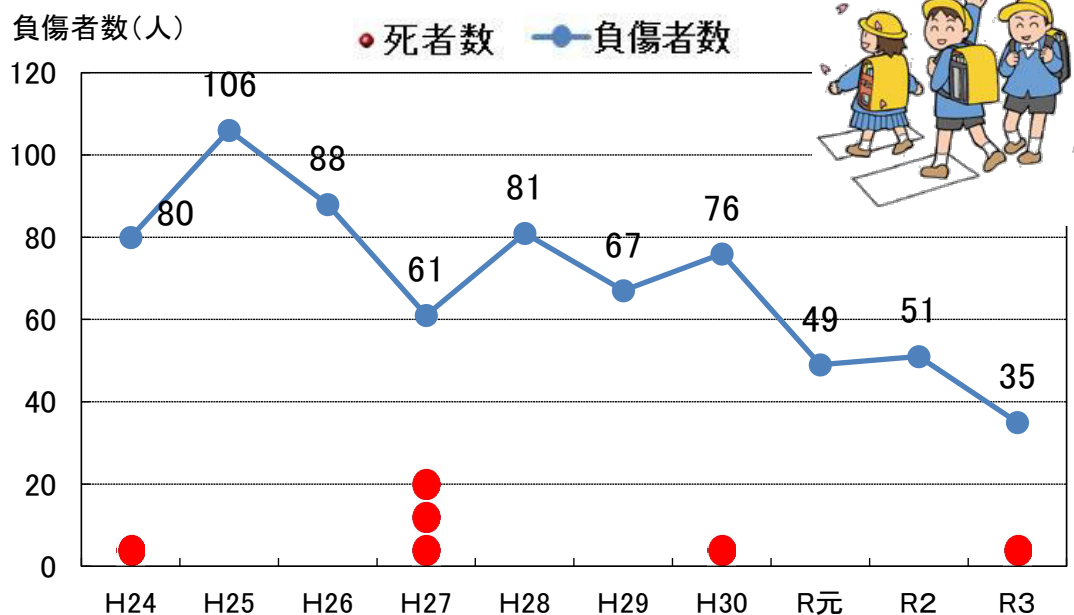


	自動車		自二車		原付車		自転車		歩行者	その他	合計
	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗			
死者数	6	1	2		1				9		19
負傷者数	392	90	16	1	11		80		103	1	694

### 3 子どもの交通事故

#### (1) 子どもの交通事故の推移

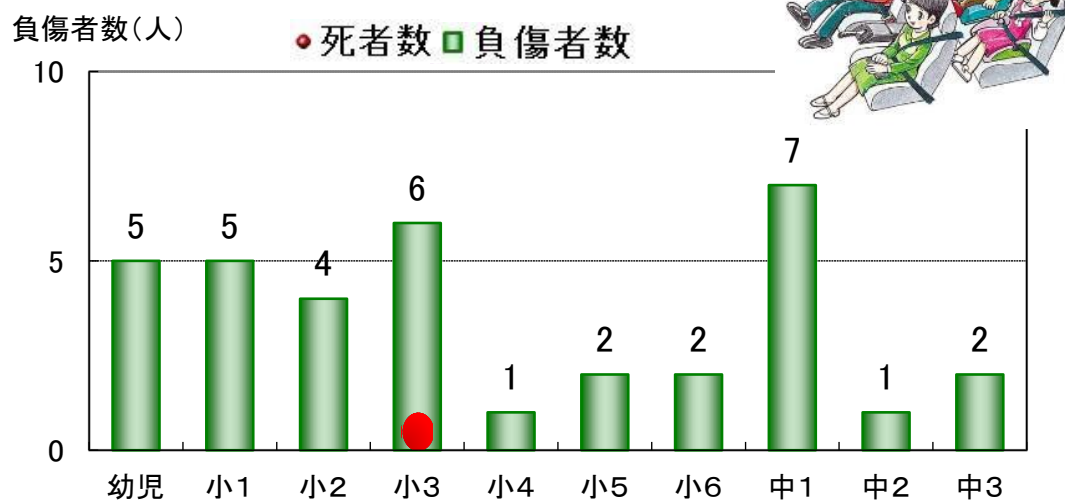
負傷者数は35人と前年比大幅に減少したが、令和元年以降発生しなかった小学生被害の死亡事故が発生した。



死者数	1			3			1			1
負傷者数	80	106	88	61	81	67	76	49	51	35

#### (2) 学齢別死傷者数

小学3年生及び中学1年生の死傷者が7人と多い。

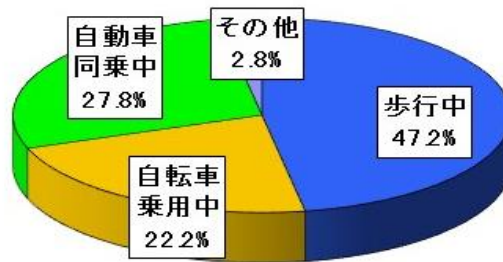


	幼児	小学生						中学生			合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
死者数				1							1
負傷者数	5	5	4	6	1	2	2	7	1	2	35

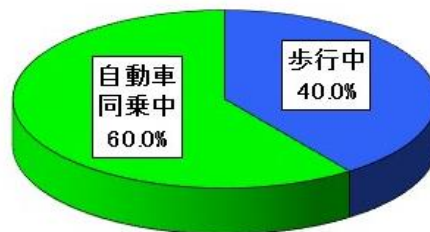
(3) 状態別死傷者数

歩行中の被害が全体の47.2%を占める。

【状態別死傷者の割合】



【幼児】



【小学生】



【中学生】



		歩行者	自転車		自動車		二輪車		その他	合計
			運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中		
死者数	幼児									0
	小学1～3年	1								1
	小学4～6年									0
	中学生									0
	計	1	0	0	0	0	0	0	0	1
負傷者数	幼児	2				3				5
	小学1～3年	8	1			5			1	15
	小学4～6年	4	1							5
	中学生	2	6			2				10
	計	16	8	0	0	10	0	0	1	35

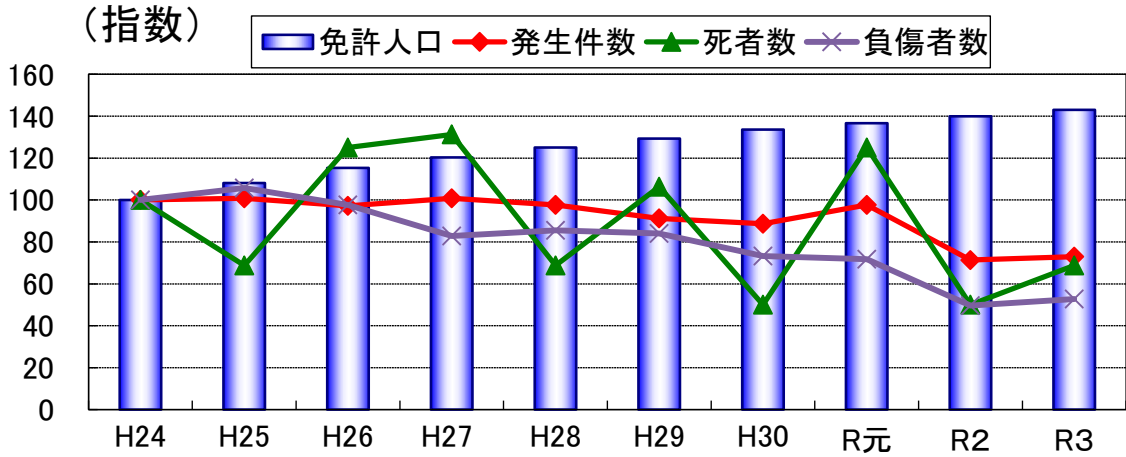
## 4 高齢者の交通事故

### (1) 高齢者の交通事故の推移

高齢者の死者数は11人(57.9%)を占め、前年から人数及び割合とも増加した。

高齢者が第1当事者となった事故は前年から1.1ポイント増加した。

高齢者の免許人口は年々増加し、平成24年の約1.4倍となった。



※ 発生件数は高齢者が第1当事者の事故件数。指数は平成24年を100とする。

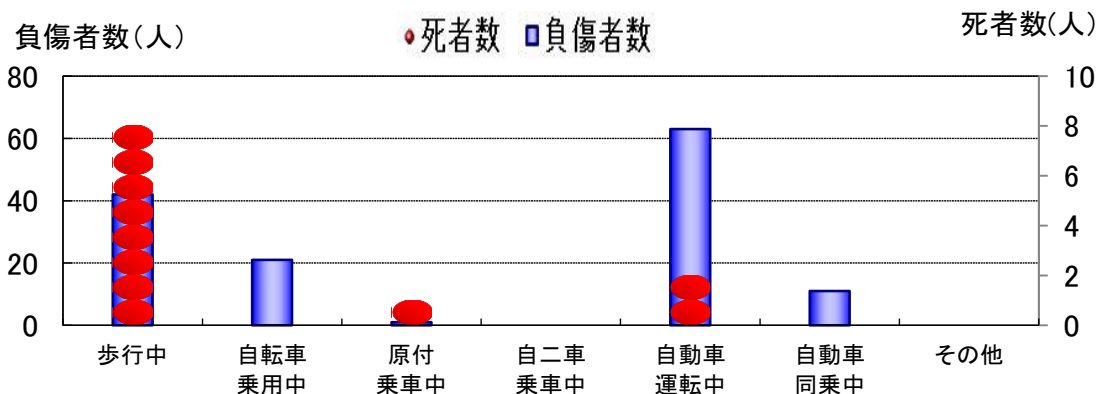
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
発生件数	248	250	241	250	242	226	220	242	177	181
うち75歳以上	115	98	106	91	101	83	81	100	71	55
高齢者死者数	16	11	20	21	11	17	8	20	8	11
うち75歳以上	9	5	17	15	8	7	6	13	4	7
高齢者負傷者数	262	277	256	217	224	220	192	188	130	138
うち75歳以上	115	121	89	89	84	83	74	78	52	50
高齢者免許人口	74,823	80,882	86,279	90,017	93,560	96,747	99,960	102,240	104,701	107,008
割合										
発生件数	17.9%	19.5%	20.6%	23.7%	24.5%	23.4%	25.3%	30.1%	28.2%	29.3%
死者数	53.3%	44.0%	58.8%	55.3%	64.7%	65.4%	40.0%	64.5%	47.1%	57.9%
負傷者数	15.8%	17.1%	18.3%	17.4%	18.0%	18.9%	18.7%	19.6%	17.4%	19.9%

※ 割合は、全年齢に対する高齢者の割合

### (2) 状態別死傷者数

高齢者の死者数は、歩行中が8人と突出して多い。

負傷者数は、自動車運転中が63人で最も多く、次いで、歩行中が42人。

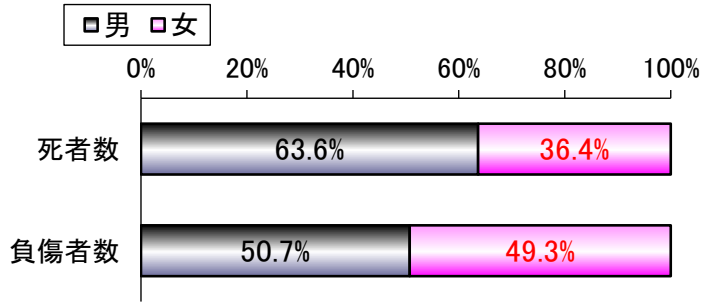


	歩行中	自転車乗用中	原付乗車中	自二車乗車中	自動車運転中	自動車同乗中	その他	合計
死者数	8		1		2			11
構成率	72.7%		9.1%		18.2%			100%
負傷者数	42	21	1		63	11		138
構成率	30.4%	15.2%	0.7%		45.7%	8.0%		100%

(3) 男女別死傷者数

死者及び負傷者とも男性の割合が高い。

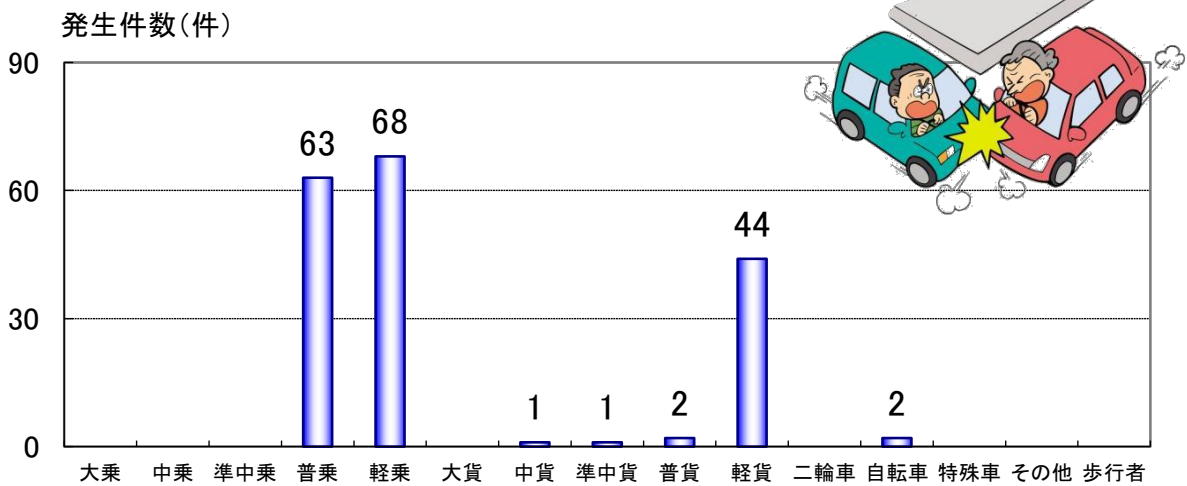
	死者数	負傷者数
男	7	70
構成率	63.6%	50.7%
女	4	68
構成率	36.4%	49.3%
合計	11	138



(4) 高齢者(第1当事者)事故件数

事故の車種別では、軽四乗用が最も多い。

事故類型別では、車両相互事故の割合が高く、うち出会い頭事故が54件と最も多い。



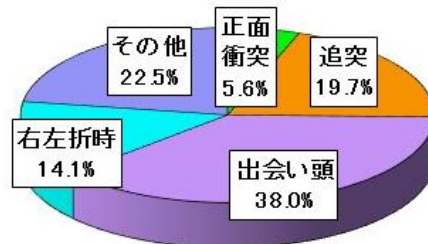
ア 第1当事者車種別・男女別

	大型乗用	中型乗用	準中型乗用	普通乗用	軽四乗用	大型貨物	中型貨物	準中型貨物	普通貨物	軽四貨物	二輪車(含原付)	自転車	特殊車	その他	歩行者	合計
発生件数				63	68		1	1	2	44		2				181
男				44	37		1	1	2	37		1				123
女				19	31					7		1				58

イ 事故類型別



ウ 車両相互の種類



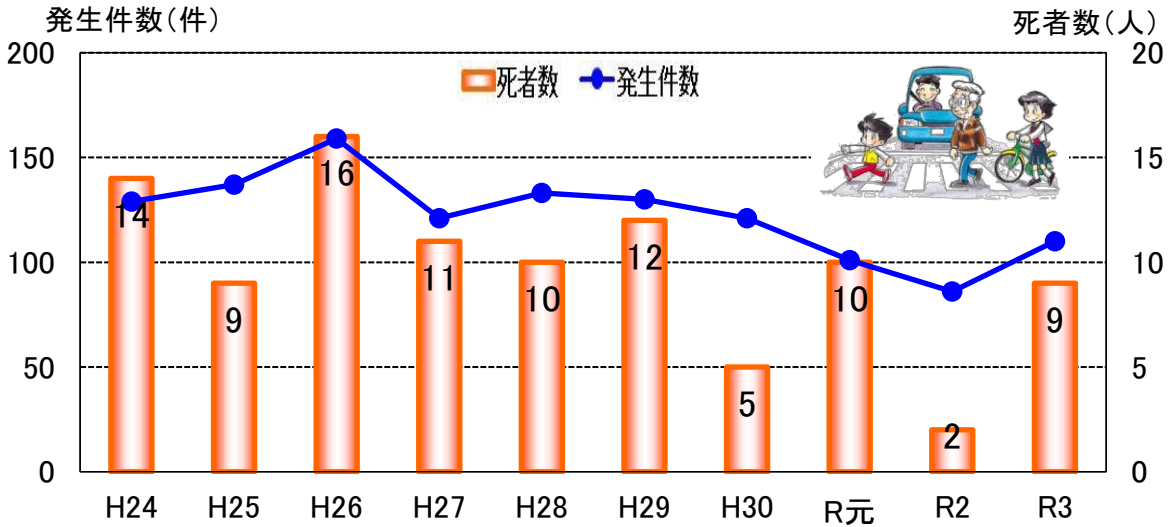
	人対車両		車両相互					車両単独	列車	合計
	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他			
発生件数	21	17	8	28	54	20	32	1		181



## 5 歩行者の交通事故

### (1) 歩行者の交通事故の推移

発生件数は110件、死者数は9人と前年から大きく増加した。

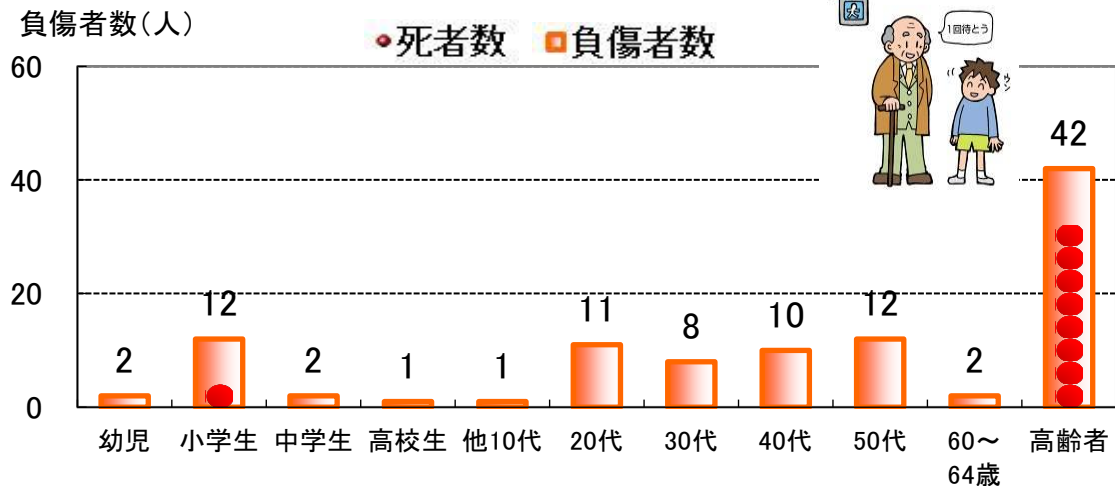


発生件数	129	137	159	121	133	130	121	101	86	110
死者数	14	9	16	11	10	12	5	10	2	9
負傷者数	116	129	148	113	133	120	119	95	85	103

※ 発生件数は、歩行者が当事者となった交通事故の件数  
 ※ 死者数、負傷者数は歩行者の人数

### (2) 年齢層別死傷者数

死者・負傷者とも高齢者が突出して多い。

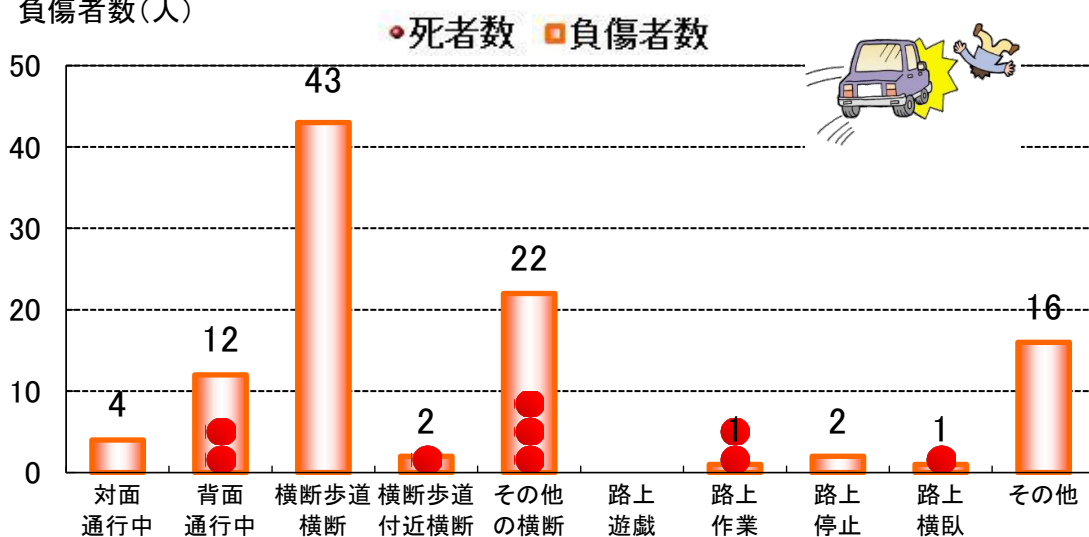


	幼児	小学生	中学生	高校生	他10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	高齢者	合計
死者数		1									8	9
負傷者数	2	12	2	1	1	11	8	10	12	2	42	103
合計	2	13	2	1	1	11	8	10	12	2	50	112

(3) 事故類型別発生件数・死傷者数

横断中の事故が多く、中でも横断歩道横断中の事故が多い。

負傷者数(人)

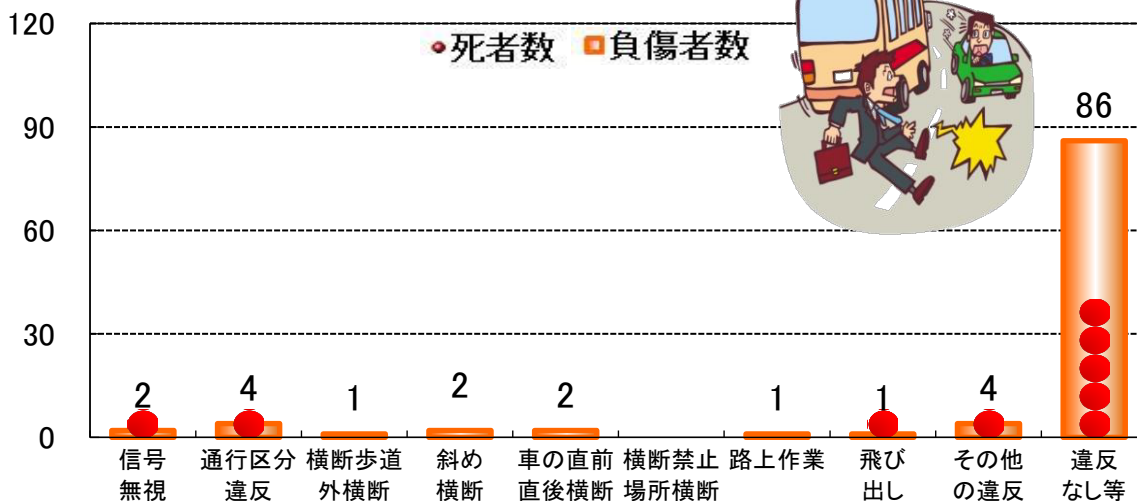


	対面通行中	背面通行中	横断歩道横断中	横断歩道付近横断	その他の横断	路上遊戯	路上作業	路上停止	路上横臥	その他	合計
発生件数	4	14	41	3	25		3	2	2	16	110
死者数		2		1	3		2		1		9
負傷者数	4	12	43	2	22		1	2	1	16	103

(4) 歩行者の違反別死傷者数

死傷者の約2割に何らかの交通違反があり、違反別では左側通行等の通行区分違反が多い。

負傷者数(人)



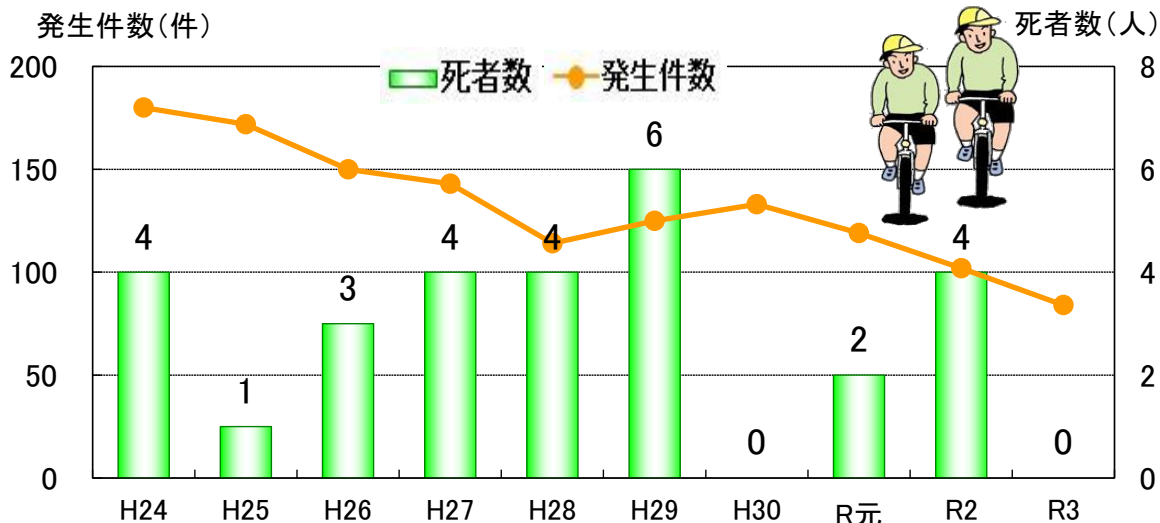
	信号無視	通行区分違反	横断歩道外横断	斜め横断	車の直前直後横断	横断禁止場所横断	路上作業	飛び出し	その他の違反	違反なし等	合計
死者数	1	1						1	1	5	9
負傷者数	2	4	1	2	2		1	1	4	86	103

## 6 自転車の交通事故

### (1) 自転車の交通事故の推移

発生件数は前年から減少し、自転車に関係する死亡事故の発生はなかった。

発生件数(件)



発生件数	180	172	150	143	114	125	133	119	102	84
死者数	4	1	3	4	4	6		2	4	
負傷者数	177	169	147	139	110	119	133	116	98	80

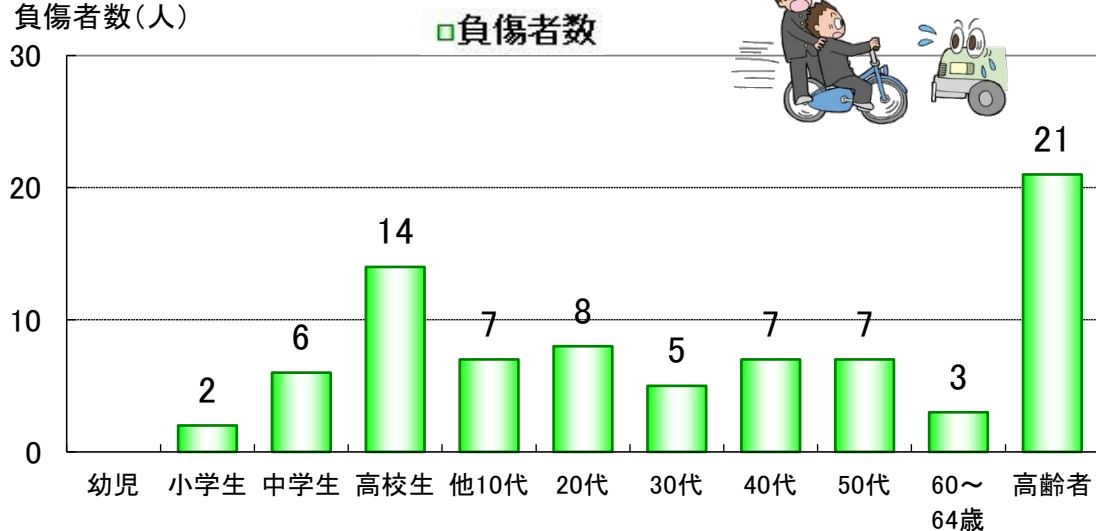
※ 発生件数は自転車が当事者となった交通事故の件数

※ 死者数、負傷者数は自転車乗用中の人数

### (2) 年齢層別負傷者数

負傷者は、高齢者が最も多いが、割合では高校生が突出して多い。

負傷者数(人)

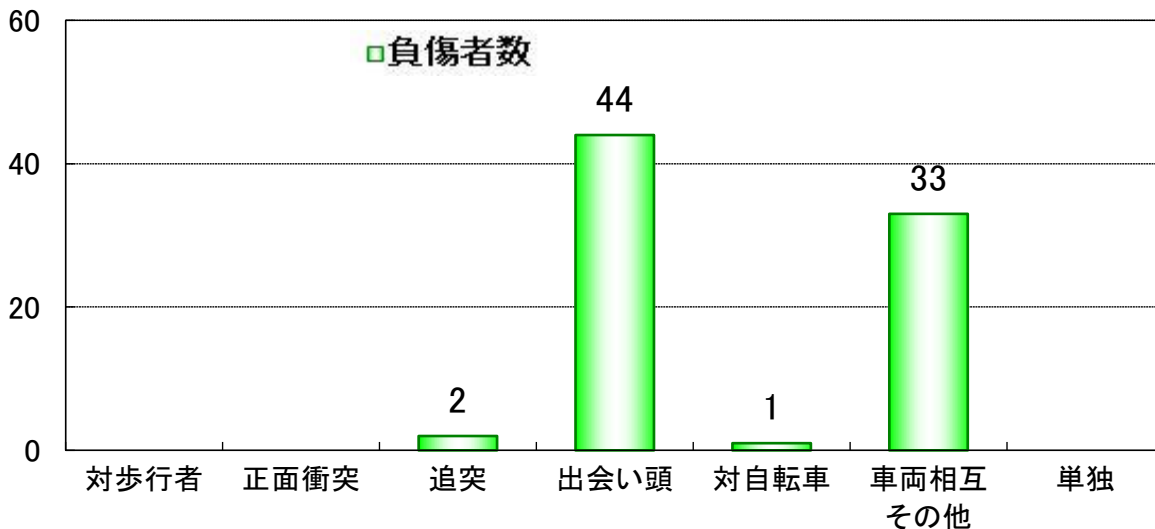


	幼児	小学生	中学生	高校生	他10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	高齢者	合計
死者数												
負傷者数		2	6	14	7	8	5	7	7	3	21	80
合計		2	6	14	7	8	5	7	7	3	21	80

(3) 事故類型別発生件数・負傷者数

出会い頭事故が最も多く、自転車事故の5割以上を占めている。

負傷者数(人)

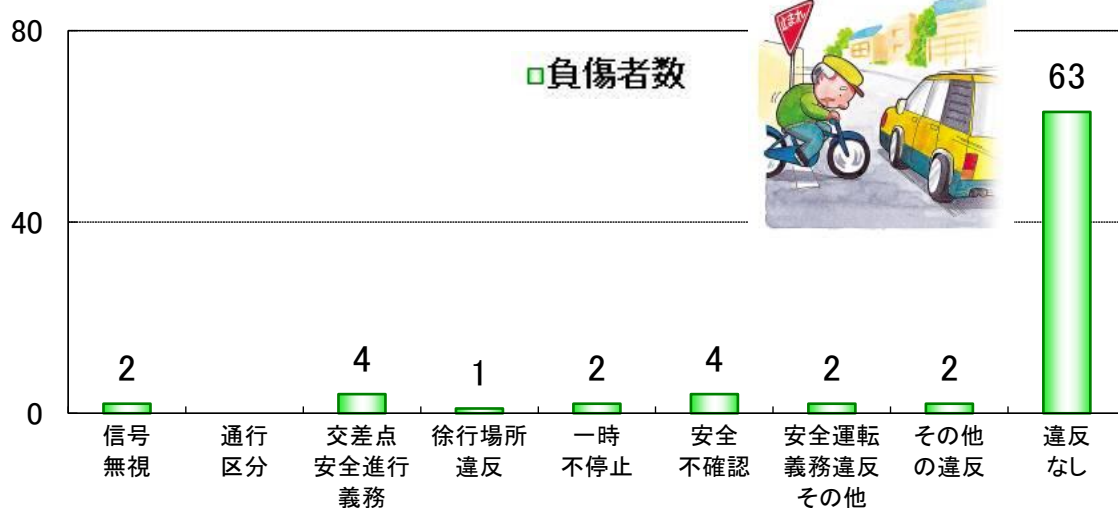


	対歩行者	対車両事故					単独	合計	うち 同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	対自転車	その他			
発生件数	4		2	44	1	33		84	
死者数									
負傷者数			2	44	1	33		80	

(4) 自転車の違反別負傷者数

負傷者の約2割に何らかの交通違反があり、違反別では安全運転義務違反が多い。

負傷者数(人)

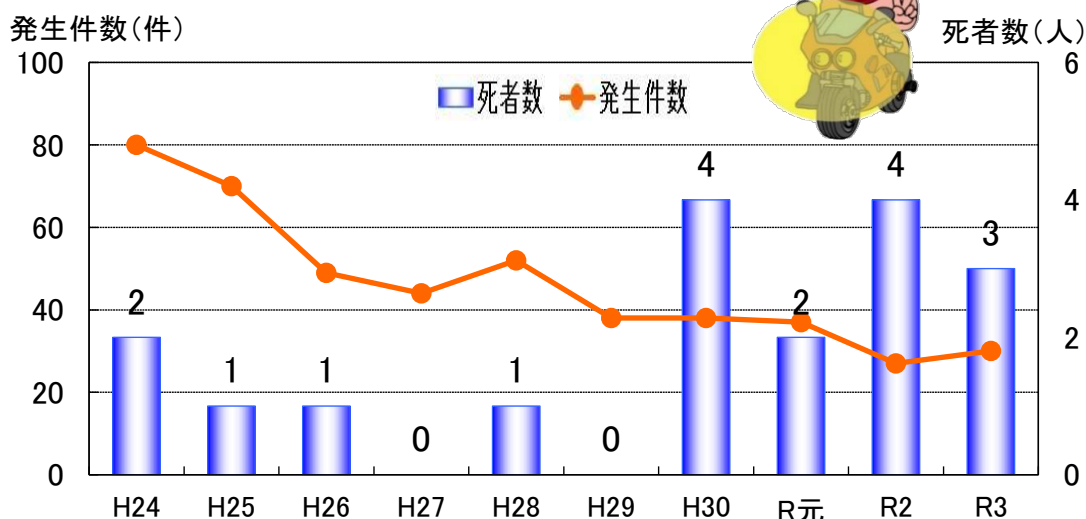
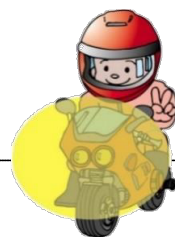


	信号無視	通行区分 違反	交差点 安全進行 義務違反	徐行場所 違反	一時 不停止	安全運転義務違反		その他の 違反	違反 なし	合計
						安全不確認	その他			
死者数										
負傷者数	2		4	1	2	4	2	2	63	80

## 7 二輪車(自動二輪・原付)の交通事故

### (1) 二輪車の交通事故の推移

発生件数は、前年から増加したが、死者は前年比1人減少した。

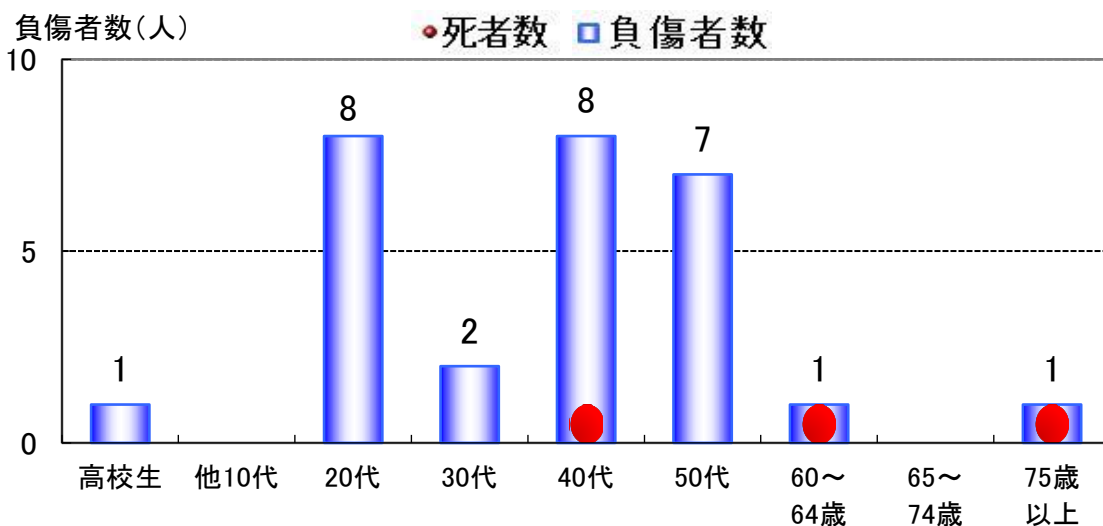


発生件数	80	70	49	44	52	38	38	37	27	30
死者数	2	1	1	0	1	0	4	2	4	3
負傷者数	78	66	44	37	46	33	30	31	22	28

※ 発生件数は二輪車事故の件数、死者数、負傷者数は二輪車乗車中の人数

### (2) 年齢層別死傷者数(二輪車乗車中)

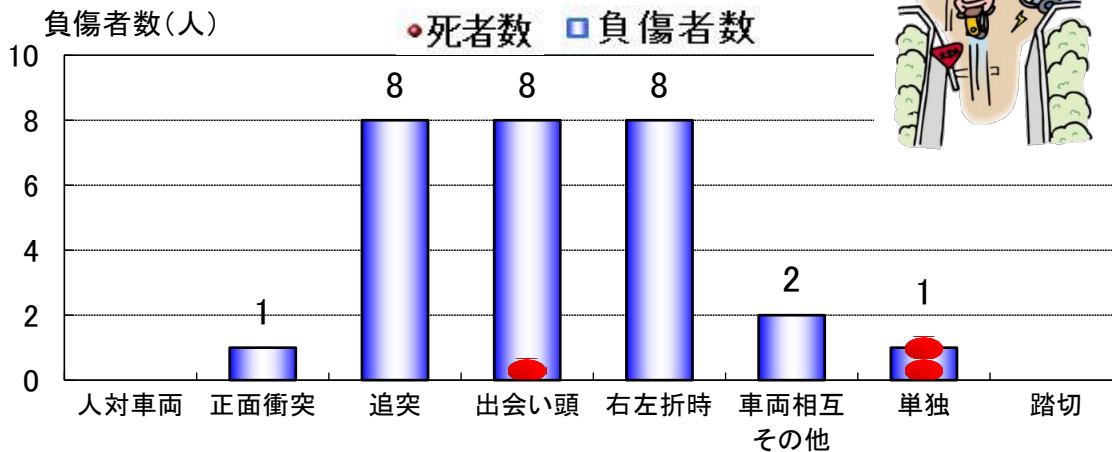
死傷者は、40代が最も多い。



	高校生	他10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	高齢者		合計
								65~74歳	75歳以上	
死者数					1		1		1	3
負傷者数	1		8	2	8	7	1		1	28
合計	1		8	2	9	7	2		2	31

(3) 事故類型別発生件数・死傷者数

出会い頭事故の発生が多い。



	人対車両	車両相互					単独	踏切	合計	うち同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他				
発生件数		1	7	9	8	2	3		30	
死者数				1			2		3	
負傷者数		1	8	8	8	2	1		28	1

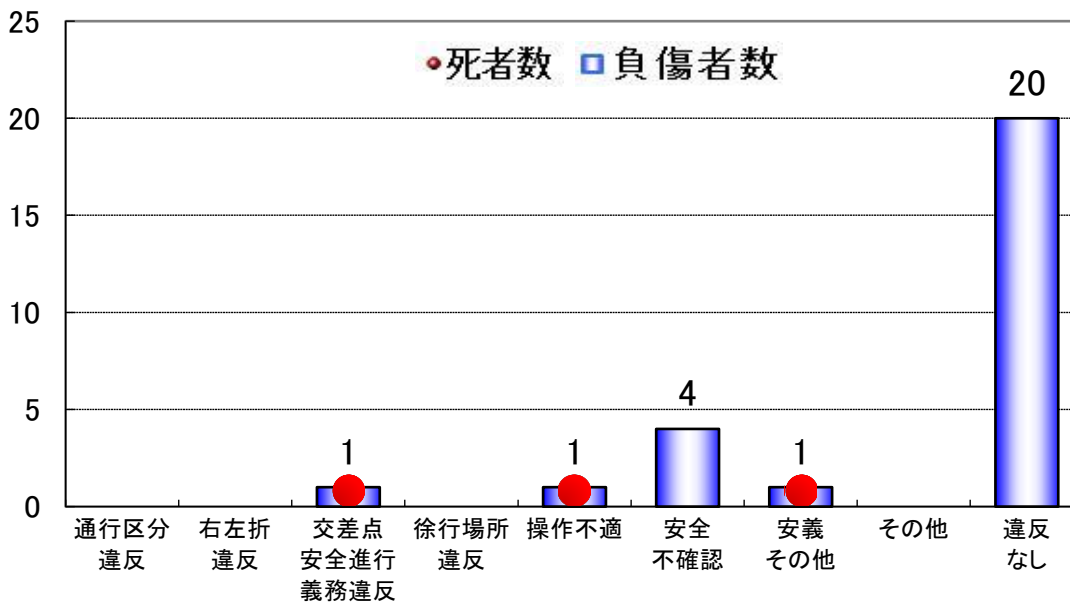
※ 発生件数は二輪車事故が当事者となった事故の件数

※ 死者数、負傷者数は二輪車乗用中の人数

(4) 二輪車の違反別死傷者数

死傷者の約3割に何らかの交通違反があり、違反別では安全運転義務違反が多い。

負傷者数(人)



	通行区分違反	右左折違反	交差点安全進行義務違反	徐行場所違反	安全運転義務違反			その他	違反なし	合計	同乗中
					操作不適	安全不確認	その他				
死者数			1		1		1			3	
負傷者数			1		1	4	1		20	27	1

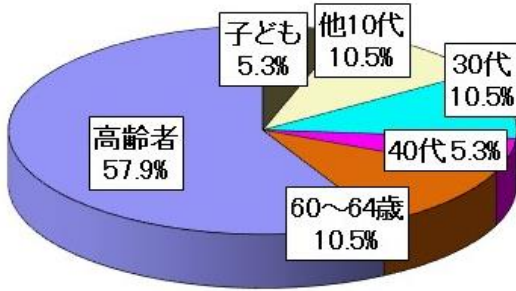
## 8 交通死亡事故発生状況

### (1) 年齢層別・状態別死者数

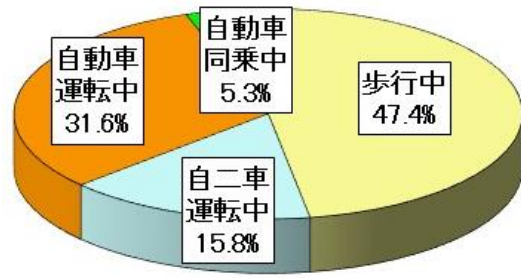
年齢層別では、高齢者が11人(57.9%)等、60代以上が13人(68.4%)を占める。

状態別では、歩行中が9人(47.4%)と、前年(2人・11.8%)から大幅に増加した。

【年齢層別死者】



【状態別死者】



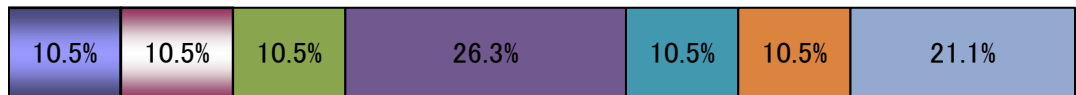
	子ども	高校生	他10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	高齢者	合計
歩行中	1								8	9
自転車乗用中										
自二・原付運転中						1		1	1	3
自動車運転中			2		1			1	2	6
自動車同乗中					1					1
その他										
合計	1		2		2	1		2	11	19

### (2) 第1当事者の年齢層別・状態別件数

年齢層別では、40代が5件(26.3%)と最も多い。

当事者種別では、自動車運転中が89.5%を占める。

■他10代 □20代 ■30代 ■40代 ■50代 ■60~64歳 ■高齢者

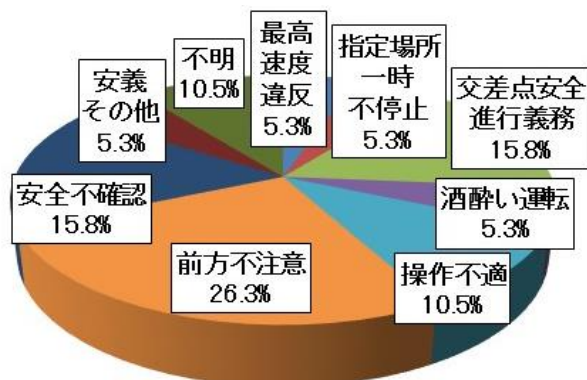


0% 20% 40% 60% 80% 100%

	子ども	高校生	他10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	高齢者	合計
自動車			2	2	2	4	2	1	4	17
自二・原付						1		1		2
自転車										
歩行者										
その他										
合計			2	2	2	5	2	2	4	19

(3) 第1当事者の違反別件数

前方不注意が5件(26.3%)と最も多い。



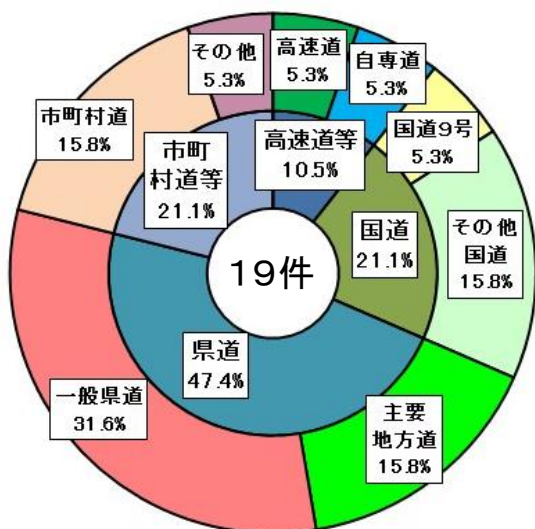
	最高速度違反	指定場所一時不停止	交差点安全進行義務違反	酒酔い運転	安全運転義務違反				不明	合計
					操作不適	前方不注意	安全不確認	安義その他		
件数	1	1	3	1	2	5	3	1	2	19

(4) 路線別・道路形状別件数

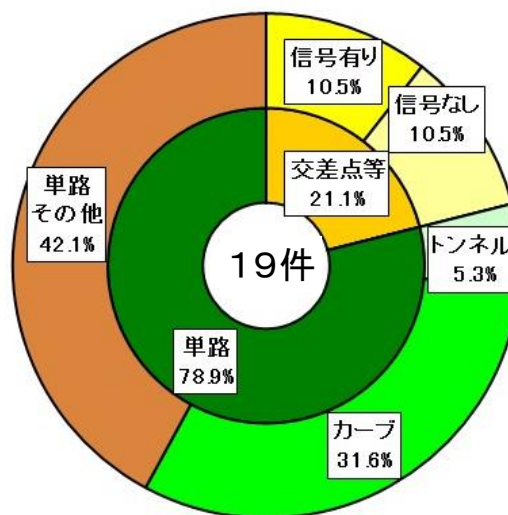
路線別では、県道での発生が9件(47.4%)と最も多い。

道路形状別では、単路での事故が15件(78.9%)と多発。

【路線別死亡事故】



【道路形状別死亡事故】



	高速道等		国道				県道		市町村道等		合計
	高速道	自専道	9号	29号	53号	その他	主要	一般	市町村道	その他	
件数	1	1	1		1	2	3	6	3	1	19

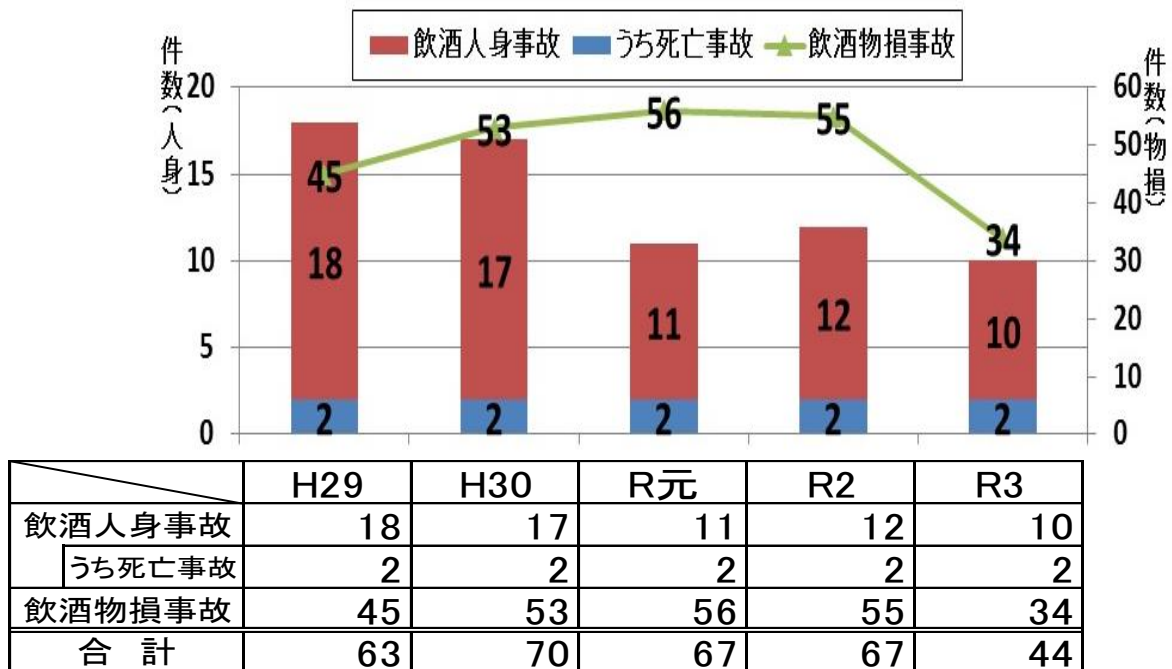
	交差点等			計	単路			計	その他		計	合計
	信号有り	信号なし	交差点付近		トンネル	カーブ	その他		踏切	その他		
件数	2	2		4	1	6	8	15				19



## 9 飲酒交通事故、飲酒運転取締り状況

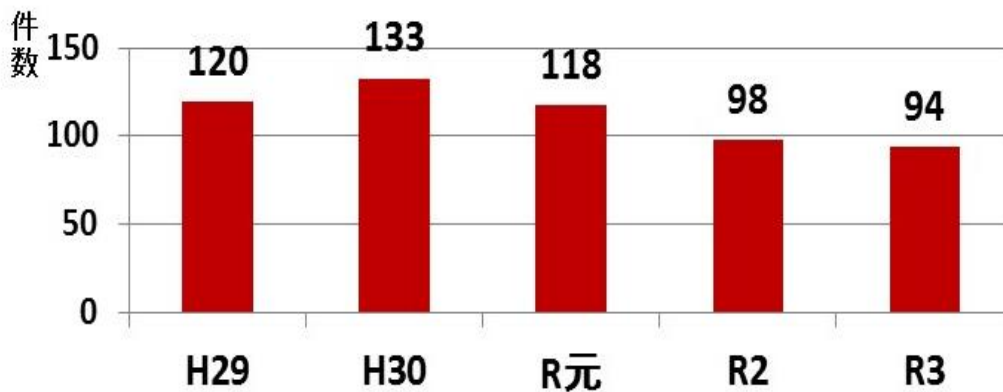
### (1) 飲酒交通事故発生状況

飲酒を伴う交通事故総数は前年から大きく減少し、令和3年は人身事故が10件(前年比-2件)、物損事故が34件(前年比-21件)の合計44件発生した。



### (2) 飲酒運転取締り状況

飲酒運転の検挙は前年から減少し、令和3年は94件(前年比-4件)を検挙した。



【MEMO】

令和3年版  
図解交通年鑑

---

---

鳥取県警察本部交通部交通企画課

鳥取市東町1丁目271 TEL 0857-23-0110

---

---